

ヤマ下タケル伝説の杖衝坂を越えれば、ひなびた雲が團気の宿場、石薬師。ここは歌人・佐佐木信綱の生まれの故郷。土地の人の気持ちあかしのはゆる優しげな記念館がある。



# 東海道五十三次 石薬師いしやくし

江戸より四十四番目の宿

佐々木信綱は夏は来ぬムの作詩者。卯の花を押し花にしたしあり

佐佐木信綱資料館  
短冊色紙 書簡  
屏風 書籍など  
信綱の遺愛品や  
御下賜品を収蔵  
展示



▲明治の歌人で万葉研究でも知られた佐々木信綱の生家で隣には資料館がある。  
○石薬師寺  
由來書によれば、神皇年間 養したといふ。(七三四〜七三九) 養澄とて、高僧本堂は、慶長年(一五九六〜一六五〇) 森の中、靈光を放つ巨石を間に、(五九六〜一六五〇) 見つけ、草堂をたてこれを供に神之城主一柳養した。その後、弘法大師が、鹽物直盛が再建。薬師如来像を彫り、開眼供したものと伝えられる。

東海道五十三次  
卯の花  
石薬師  
資料館

佐々木信綱  
資料館